

ICANN76 参加支援プログラム 参加報告書

竹村 太一

2023年3月26日

1 はじめに

本報告書は、メキシコのカンクンで3月11日から3月16日まで開催されたICANN76の参加報告書である。ICANN76にはICANN76参加支援プログラムによる支援を受けて参加した。

2 参加したセッション

• 1日目

- ICANN76 Fellows and NextGen Meet & Greet
- ICANN Fellowship Program: Consensus Playbook Training [C]
- ICANN Fellowship Program: The Art of Small Talk
- Fellowship Social Networking Hour

• 2日目

- ICANN Fellowship Program: Introduction to ICANN OCTO and KINDNS
- How it Works: ICANN Policy
- Get to Know the ICANN Community: NCSG, NCUC, NPOC

• 3日目

- Welcome Ceremony
- Tech Day (1 of 3)
- Tech Day (2 of 3)
- Joint Session: ICANN Board and ALAC
- Tech Day (3 of 3)

- Joint Session: ICANN Board and RSSAC
- 4 日目
 - ICANN Fellows and NextGen: Focus on Universal Acceptance
 - Root Server System Information Session
 - Listening Session: Future of ICANN and the Next President and CEO
 - Promoting Universal Acceptance through Local Engagement
 - Root Server System Governance Working Group (6 of 6)
- 5 日目
 - SSAC Public Meeting
 - Looking Towards WSIS+20: How Can We Improve Multistakeholder Participation in Internet Governance?
 - Universal Acceptance: New Internationalized Email Self Certification Guide Overview
 - DNSSEC and Security Workshop (2 of 3)
 - DNSSEC and Security Workshop (3 of 3)
- 6 日目
 - ICANN Fellowship Program Wrap Up [C]
 - ICANN Public Forum
 - ICANN76 Wrap Up Cocktail

3 参加したセッションのうち印象に残ったセッション

ICANN76 で参加したセッションのうち、印象に残ったセッションについて述べる。

3.1 ICANN Fellowship Program: Consensus Playbook Training

この Consensus Playbook Training は ICANN Fellowship プログラムの一部であり、コンセンサスについての説明とグループ学習を通してコンセンサスの取り方について学んだ。ICANN76 への参加は JPNIC の Fellowship として参加したため、ICANN の Fellowship ではないが、特別に ICANN Fellowship のプログラムへ参加させてもらった。

グループ学習では利害関係を持つ人物がそれぞれ違った意見を持っているシナリオが用意されており、与えられたシナリオに関してグループでどうすればシナリオの状況でコンセンサスをとれるかを議論した。シナリオの例としては、友人たちでランチに行く場所を決めようとしているが、人によりアレルギーで食べれないものがあったり、予算が限られているという制約事項があり、人によって行きたい店のジャンルが分かれている。自分が参加したグループはかなり早いペースで議論が進められていたため、自分の意見を考えている間に次の話に移ってしまっており、自分の意見を言うことができなかった。このセッションが終わったあとに同じグループのメンバーから、自分の意見について単語でいってもらえれば反映したので頑張って参加して欲しかったと言われた。この話を聞き、議論で自分の意見を伝えるためにタイミングを待つのではなく、とにかく意見をのべることが重要であることを実感した。

3.2 Root Server System Information Session

このセッションは、DNSの技術的な説明やRSSAC(Root Server System Advisory Committee)に関する説明がされていた。DNSに関する話では、クライアントがどのように名前解決をしているのかといった基本的な説明から始まり、DNSSECやAnycastといったDNSのモダンな技術についての説明がされていた。特にAnycastに関して詳しく説明されていた。DNSサーバの構成として、UnicastとAnycastがある。Unicastは一つのIPアドレスとDNSサーバが対応しており、ユーザからDNSサーバへのリクエストはすべて一台のDNSサーバに送信される。Anycastは一つのIPアドレスを複数のサーバでシェアしており、ユーザからDNSサーバへのリクエストは近くのDNSサーバへ問い合わせが行われる。Unicastは一台のDNSサーバがリクエストを処理する必要があり、DNSサーバが落ちてしまうとユーザが名前解決ができなくなったり、DDoS攻撃による影響を受けやすい。Anycastは近くのDNSサーバへ問い合わせができるようになるのでレイテンシの改善したり、一つのDNSサーバが落ちてても他のDNSサーバは影響を受けないのでDDoS攻撃の影響を受けにくいという利点がある。ルートサーバにおいても2001年からAnycastを導入したと紹介されていた。

このセッションに参加して、基本的な技術に関して説明があるセッションが行われるおかげでその技術に詳しくない人でも参加しやすくなっているのを実感した。また、発表で現在使われている技術や運用方法に関して説明することで、技術に詳しい人にも興味をもってもらえる工夫がされているように感じた。

4 今回の経験を今後どう生かしておきたいか

ICANN76でワーキンググループの活動に参加することで、議論の行われ方を見ることができ、ワーキンググループがどういったものなのかイメージを掴むことができた。今までワーキンググループに関してはメーリングリストや公開されているレポートを見る機会しかなく、どういった雰囲気や議論が行われているかがわかっていなかった。実際にオフラインでワーキンググループに参加できた経験は大きいと感じた。自分の専門的な領域であれば貢献できる部分もあると思うので、今後は自分の専門的な領域のワーキンググループに参加して貢献していきたい。

今まで技術的な勉強を優先して語学に関してはあまり勉強ができていなかった。ICANN76ではネットワーキングなどで英語を使う機会が多くあり、コミュニケーションをとる際に英語ができず苦労する機会が多かった。また、技術的なことに関して議論している際にもうまく説明することができずにもどかしい思いをした。自分の意見で会ったり、コミュニケーションをとるためにも語学のスキルを高めておく必要を感じた。語学に関する勉強をする時間を確保していきたい。

5 参加支援プログラムに対する所感

参加支援プログラムを通じて交通費や宿泊費を支援していただき、安心して国際会議に参加することができた。ICANNに参加する前にも、メールでICANN Prep Weekの案内やICANN参加登録の締め切りの案内など手厚くフォローをしていただき、ICANNに参加する準備を滞りなく進めることができた。会期中においても、ネットワーキングの機会を設けていただいたり、人の紹介をしていただいたことでいろんな人と交流することができた。